

# うそだらけの系譜

## — 宇佐美系譜 —

宇佐美系譜とは

紀州徳川家に仕えた宇佐美家が作らせた家系図です。江戸時代以前の(図1、図2)と、江戸時代のもの(図3)の2つがあります。中には、宇佐美家の先祖とその活躍が書かれています。その場合がほとんどです。



図1 宇佐美系譜①表紙

このようなところが多い!

図3 宇佐美系譜③

図2 宇佐美系譜①裏表紙

宇佐美 定行

正	偽
越後国の長尾氏に仕え、長年にわたり上杉家の勢力拡大をそまたげましたが、のちに上杉家に任じます。	実際には関係していない。中島の上杉軍を大破し、200の首をとったとされています。

宇佐美家文書とは

宇佐美定祐が紀州藩士になる際に、家系の信用度を高めるために提出したものです。父の勝興がねつ造したとされています。

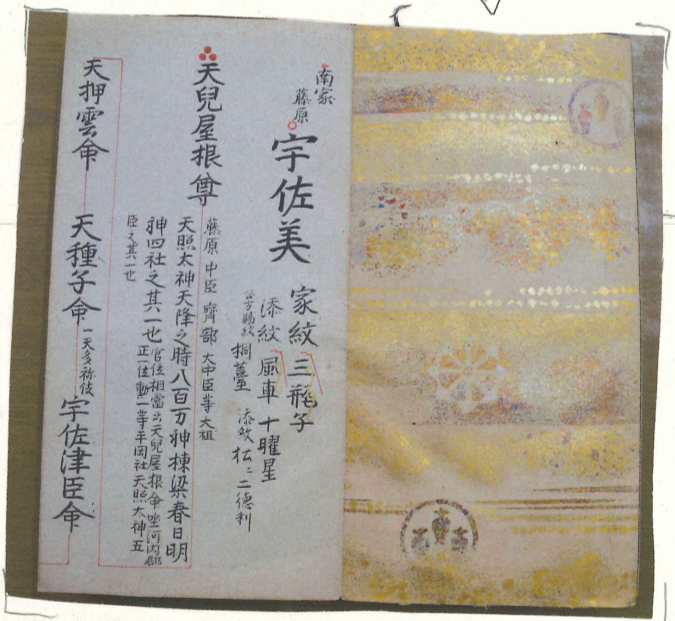
源頼朝、足利尊氏、上杉謙信、豊臣秀吉、石田三成、真田信繁(幸村)などからの手紙が残されています。

同月廿八日景虎と晴信大戦于川中島下末宮大克之晴信敗北也定行為奇兵横撃于信玄陣大破斬首二百餘級今日景虎得大勝斬梟田原助武田大坊板垣三郎朝比奈左京武田飛騨守半管善四郎栗田諸崎守津田三郎左衛門兼刑部等五千餘人足管武田駿兵也天文廿三年管領上杉憲政約謀管領職上杉称号而成父子之契乃賜諱一字自是景虎改名於政虎同八月十八日政虎与武田晴信大戦于川中島自卯至未十七戦政虎得十一勝也晴信統中軍二千(僭)涉屋川(飛)之(初)涉(経)川道急掩撃于政村而望視政虎敗績引兵鸣鼓而横衝晴信中軍而破之晴信逃入御幣川政虎逐之与晴信搏鬪于河中斬晴信傷之晴信脱馬脱去政虎回馬首而登岸武田信繁欲取政虎而追及政虎奮劍斬殺信繁武田諸陣皆敗績(武田)今存我軍得大捷也此日越國猛帥高杉源五郎頼治死没云々

家紋がかわれた立派な本

定行為奇兵横撃 信玄陣大破斬首 二百餘級

宇佐美家の最初は神様から藤原氏つながります



宇佐美 勝行

存在しない人物。定行に息子はいなかったとされている。

父勝興が亡くなった2年後に紀州藩士となります。その際に、宇佐美家文書で先祖の身分を証明したそうです。

「上杉謙信の軍師・宇佐美定行の子孫」を名乗り、紀州徳川家の祖である頼宣に軍学者として招かれました。

宇佐美 勝興

宇佐美 定祐

定祐 和光近又彦四郎 大関九郎後守氏 寛永十七年十月見 頼宣君正御目見 慶安二年被召

出典 高橋修『異説』もうひとつの川中島合戦 紀州本川中島合戦四屏風の発見 洋泉社 2009 『和歌山県立文書館だより』第20号 2007